

宍戸大裕監督から

映画「道草」の上映を通じて昨年、ふれジョブのみなさんと知り合ってから長野、上田、千曲と度々長野県を訪れました。眺めの奥ゆきの深さと、かさねた歴史の厚みをその土地から感じはじめていた頃、「こんど長野の小海町で新しいこと始めます」という連絡が届きました。小海町って、長野に海なんてあったっけ？と訝しんでいると、続けて「ところで映画はオンラインでも上映できますか？」との質問です。最近よく聞く「オンライン」。横文字と流行を苦手とする僕は、知人友人を頼りに「オンライン上映」なるものを慌てて調べて苦心惨憺。しばらくたってから「できますよ」とさも前から知っていたような涼しい顔でお答えしたのです。でも、実際上手くいくかどうかは蓋をあけてみないとわからない。無縁の横丁へ足を伸ばしていく時のような、歩いたことのない辻を曲がる時のような、そんな不安と期待。これってまるで、子ども時分の道草そのものでしょうか。8月小海町へと訪ねていく僕は道草気分です。海もないのに小海町、その由来を話のはじまりに尋ねてみようと思います。